



# わくわく 出水南

発行：校長 上妻 薫

## 講話朝会（一部抜粋）

夏休みに皆さんが取り組んだ親子新聞で、学校賞をいただきました。素晴らしいと思います。伝統的に取り組んでいることで、それを受け継ぎ、取り組んでいるのが素敵だなと思います。

10月1日から蔓延防止が解除され、日常生活を少しずつ取り戻していくこととなります。感染症対策をしながら、今のこの状況が続くように、みんなで力を合わせていきましょう。

さて、今日は、「本を読む」お話をします。

みなさんは、本が好きですか？今月は、読書旬間でもありますね。それから、なんとこの4月からこれまでに100冊も読んだお友達もいます。また、今の6年生は、月曜日から金曜日までに1時間以上読書をする人が30人いました。本当にすごいなと思いました。読書が好きな人や本をよく読む人は、「なぜ本を読むのか？」とか「本を読むとどんないいことがあるのか？」ということを考えてなくても、自然と本を読むことがご飯を食べるとおなじように習慣となっている人がいると思います。校長先生も、そんなふうになれたらいいなと思いますが、まだまだ、そこまではなれません。

本を読むことでのいいことは、たくさんあります。そのうち、いくつか紹介します。

まず、わたしたちが経験できることは、限られています。みなさんは、今、小学生です。他の国の小学生になったり、男の子は女の子になったりと自分の今の状況と違う状況のことは、なかなか経験できません。今、大人の状況も体験もできませんね。本を読むと、いろいろな状況の人がいます。そうです。自分以外の立場の人の思いや考えを経験できます。

次に、わたしたちが、一生の中で出会える人は、限られています。本を読むことでたくさんの人と出会えることができます。いろいろな人の物の見方や考え方にふれることができます。



## 学校環境緑化コンクール 中央区賞（RKK賞）受賞

これまでの環境緑化の取組と毎朝のちょボラ活動で子どもたちが学校をきれいにしようと頑張ってくれた取組の結果です。今後、ますます、学校環境整備については力をいれていきます。保護者の皆様のご理解ご協力をお願いします。



こうやって、自分のなかにたくさんさんの経験や出会いを積むことで、世の中の見方が変わってきます。例えば、レントゲン写真をみたとき、おおまかなことはわかると思いますが。でも、病院の先生は、私たちよりも深いところで、いろいろ説明してくれます。本を読むことで、たくさんさんの経験や出会いがあり、もの見方や考え方を豊かにしてくれます。そして、自分の人生、これからの生き方にも、答えを示してくれると思います。友達のことや家族のこと、学校の勉強や先生のこと、どうしようかなと思うときに、こんなふうな解決すればいいのだ！とひらめきを与えてくれると思います。今日は、本を読むことで、たくさんさんの経験や出会いを自分の心のなかに積むことができるということ、どうしようかなとまよったときに、ひらめきや解決法をもたらしてくれること、をお話しました。10月は、読書旬間もあります。本を読むことが、ご飯を食べると同じように習慣になるといいですね。

10月7日木曜日の5時間目、文科省の直山木綿子視学官が、本校の6年生に英語の授業をしてくださいました。子どもたちの学ぶ姿を褒めていただきました。これまでの指導の成果と思います。さらに、子どもの力を高めていけるようにします。